

2023年新春 新年のご挨拶

和歌山県遊技業協同組合
理事長 金 貴 如

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には、つつがなく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平素から、組合の諸活動に対し、ご支援、ご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、私も気持ちを新たに身を引き締め、業界の発展に向け、精進する所存でございます。

さて、2020年からのこの3年間は、新型コロナウイルスは拡大、縮小を繰り返し、新たな変異株が発生するなど、今後も予断を許さない状況にあります。

このような中、私たち業界では、「ホールからクラスターを発生させない。」との強い決意の下、全ホールが感染症拡大防止対策を徹底していただき、現在においてクラスターの発生は確認されておられません。

皆様方におかれましては、今後とも気を緩めることなくガイドラインに沿って、あるいはそれ以上の工夫をして、対策を講じていただきますようお願い申し上げます。

昨年は、旧規則機の全ての撤去の完了、和遊協支部の統廃合による新支部体制への移行、スマートパチスロの導入開始などがありました。

旧規則機の撤去に関しましては、大きな問題もなく計画的に入替が行われました。

昨年4月からは、和遊協新支部体制での運用が始まりましたが、これまで特段の問題は報告されておらず、順調に推移しております。

これらにつきましては、皆様方のご理解、ご協力のたまものと感謝しているところであります。

県内のホール数につきましては、昨年中に廃業及び休業したホールは8ホール、一昨年中は3ホールでしたので、ホール数の減少に歯止めがかからない厳しい状況にあります。

このような中、昨年6月にダイナム様の4店舗が和遊協に加入していただき、県内の全ホールが組合員となりました。

今後、パチンコ・パチスロが「大衆に親しまれる身近で手軽な娯楽」であることを再認識し、余暇に足を運んでいただける空間とするため、一致団結し、遊技業界の発展及び社会的地位の向上が一層推進されるよう取り組みたいと思います。

また、昨年11月からスマートパチスロの導入が開始され、本年には、スマートパチンコも市場に導入される予定となっております。こうした新たな遊技機によって、新たにファンの支持が拡大する起爆剤となることを願っているところです。

本年10月1日からはインボイス制度がスタートします。皆様方には、既に準備を始めておられることと思いますが、スタート直前に慌てることのないよう事前準備を徹底していただき、インボイス制度のスタートに備えていただきたいと思います。

本年も、私たち遊技業界にとりましては、厳しい情勢が続きますが、そのような中でも、業界が一致団結して、この厳しい情勢を乗り切っていくように組合運営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、より魅力ある業界にしていくために、組合員各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。